

校 報



となん

岩手県立盛岡となん支援学校
令和2年度 第1号

明るく 強く

発行日 令和2年8月25日

こんにちは！

地域の皆様にも、本校のことを知っていただき、理解を深めていただくために、不定期ではありますが、このような校報を発行いたしますのでご一読いただければと存じます。

盛岡となん支援学校って？

岩手県立盛岡となん支援学校は、昭和 37 年に県内で最初の県立養護学校として、盛岡市手代森に開校しました。

以来、主に身体に不自由のある児童生徒を対象とする県内唯一の特別支援学校として教育の役割を担ってきました。

平成 30 年に県立療育センターと共に矢巾町に移転し、新校舎での学習を開始しています。

令和2年度からは、岩手医科大学附属病院内学習室において、入院する児童生徒に対する学習支援(病弱教育)も進めています。

本校には、小学部、中学部、高等部、訪問教育部があります。児童生徒の実態は幅広く、教育課程では、通常の学校と同じ「準ずる課程」、知的障がい併せ有する児童生徒に対する「各教科等を合わせた指導を主とする課程」、そして障がいの重い児童生徒に対する「自立活動を中心とする課程」と、主たる障がいや発達段階を考慮した指導を行っています。

下の表は令和2年5月1日現在の児童生徒の内訳です。

	小学部	中学部	高等部	合計
通学生	62	22	17	101
寄宿舎生	0	4	8	12
訪問教育	11	8	6	25
合計	73	34	31	138

通学生は、自宅や隣接す

る県立療育センターから通っています。寄宿舎生は、本校内にある寄宿舎から通っています。なお、訪問教育は、県立療育センターやみちのく療育園、在宅、岩手医大の学習室での学習を行っています。

寄宿舎には、中学部生4名、高等部生8名がおります。今年度は、新型コロナウイルス感染症の関係で、5月までは校外に出ることを自粛しておりましたが、6月から、ビッグハウス付近までの外出を認めています。寄宿舎の指導員と、買い物学習に行く場面に遭遇することもあるかと思えます。ぜひ温かい目で見守っていただければと存じます。



肢体不自由とは？

肢体不自由とは、身体の動きに関する器官が、病気やけがで損なわれ、歩行や筆記などの日常生活動作が困難な状態をいいます。

本校に通う児童生徒のほとんどが車いすに乗っています。自分で操作できる児童生徒もいますが、押ししてもらわないと移動できない児童生徒も多いです。

筆記などが難しい児童生徒がテストを受ける場合は、教員が代筆をすることなどもあります。